



# 九州へつながる 古賀へつながる

## モノづくり

古賀市は県内有数の工業製品出荷額を誇り、その額は年間2000億円超。TOPPANホールディングス、西部電機、正興電機、西部技研など、全国シェア上位の企業や卓越したテクノロジーを持つ企業が数多く立地する、まさにモノづくりのブランドシティ。

## 食品群

山崎製パン、ハウス食品、ピエトロ、ニビシ醤油など食品関連企業も数多く立地。加えて博多菓匠左衛門や、如水庵古賀工房などの、ひとてまかけたスイーツも充実。



## 馬力

国宝級の馬具が発見された「船原古墳と遺物埋納坑群」。金銅製の歩揺付飾金具や国内でも例を見ない超一級の豪華さと多彩さ。2017年に国指定史跡になりました。



## 地の利

九州の玄関口である福岡市に近く、250万人を擁する福岡都市圏内に位置する古賀市は、交通の便がよく、その地の利を存分に生かして、食べる・観る・つくるをかけあわせ、ひとてま加えて「喜び」と「幸せ」を生み出します。

## まつりイベント

- 3月**・なの花まつり(筵内地域)
- 3月**・さくらまつり&招福祭(古賀神社付近)
- 5月**・古賀モノづくり博 食の祭典(工場団地エリア)
- 6月**・朝どりこがスイーツコーン祭
- 7月**・ハマボウまつり(花鶴川河口)
- 7月**・夏の軽トラ市(場所は未定)
- 7月**・土曜夜市(古賀駅西側エリア)
- 9月**・筵内放生会・古賀放生会
- 10月**・青柳放生会
- 11月**・まつり古賀(市役所周辺)
- 11月**・コスモス広場感謝祭(コスモス館)
- 12月**・冬の軽トラ市(場所は未定)

# 古賀×九州



# 千kmの道も 一歩から!



### 古賀市と九州の主なできごと

9万年前 阿蘇山の噴火で九州から山口にかけて、火山灰などで大きな影響があった(古賀市も大きな影響があったと思われる)

2千数百年前 九州北部に稲作が伝来し、農耕文化が発展する(古賀市もこの時期に稲作が始まったと思われる)

西暦500年ころ 筑紫の君磐井の乱で「糟屋の屯倉」を大和政権に献上。(古賀市の鹿部田淵遺跡が「糟屋の屯倉」であったという説が有力)

西暦500年代後半～600年代はじめ 全長45.5m以上の前方後円墳「船原古墳」がつけられ、奈良藤ノ木古墳に匹敵するともいわれる国宝級の馬具などが土坑に埋納された。

西暦1605年 江戸時代に北部九州の主要道「筑前唐津街道」の宿駅の一つ「青柳宿」ができる。

西暦1890年 九州の大動脈である九州鉄道(現在のJR九州)が開通(博多～赤間)し、古賀駅ができる。

西暦1925年 福岡市から古賀市を経由して津屋崎を結ぶ「博多湾鉄道(西日本鉄道)」が開通。その後、古賀に3つの駅ができた。

西暦1973年 九州の大動脈「九州自動車道」が一部開通し、古賀ICができた。国道3号線と主要地方道筑紫野古賀線の2つの幹線道路にアクセスできる道路形状から、当時「ダブルトランペット」と言われた。

西暦1997年 全国で670番目の市として「古賀市」が誕生。市民による市制記念イベント「九州一周ジョギングリレー=古賀市民劇走」が行われ600人以上が参加。

※マップの「九州一周ルート1000km」はその時に実際に9日間かけて市民ランナーが走り継いだコース

### 古賀ICを降りてわずか5分 古賀のうまい!へどうぞ

工場直送の「食」の店 **コガ・ポーノ**  
古賀市が誇る食品工場から直送されたスイーツや海産物、食肉製品などを販売する店舗。古賀にしかない「古賀ラーメン」や「古賀カレー」なども食べられます。

農産物直売所 **コスモス広場**  
地元でとれた旬の野菜・果物が盛りだくさん。みかん、イチゴなど生産者の顔が見える人気スポット。

# 古賀×九州

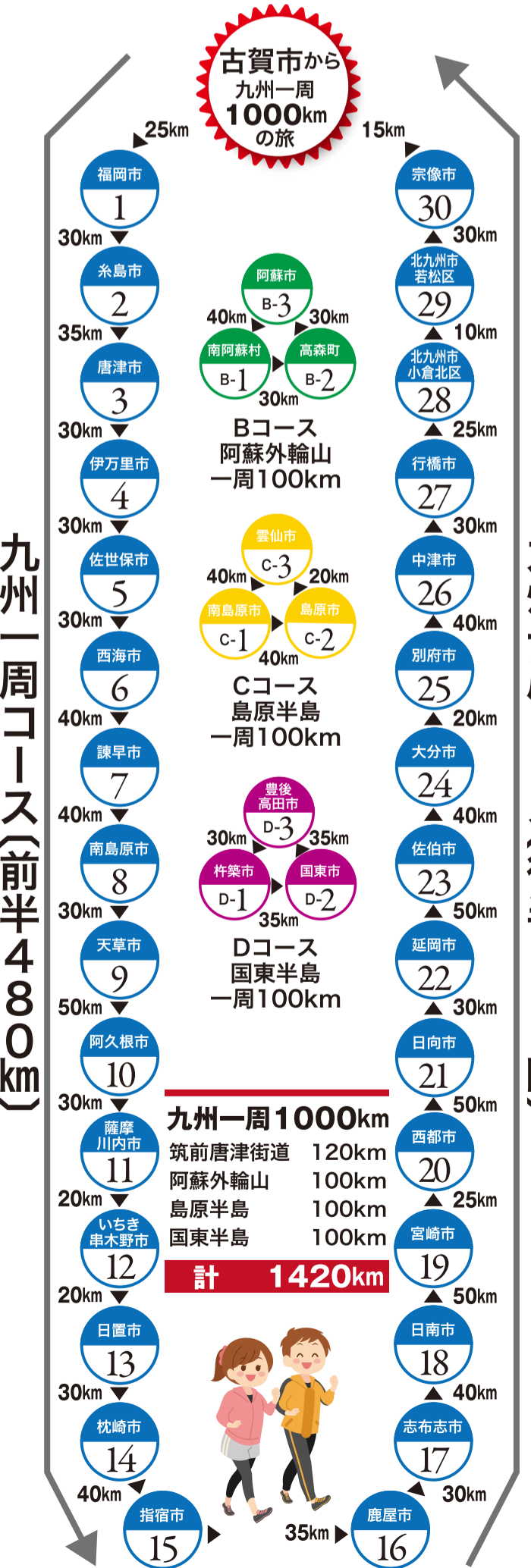
## 古賀市を巡って 九州一周にチャレンジ!

### このマップの楽しみ方

古賀市内の「巡るルート」を巡ることで九州一周したことにするマップです。



- 巡った距離を色めりしましょう。
- 5kmが1マス(昨日2km、今日3kmなら5km)
  - マップは左周り(各都市に到着した年月日も記入)
  - 歩くも、走るも、自転車もOK。
  - あなたの健康づくりを応援
  - ( )は、ご自分で記入しましょう。



### マップで示した距離はおよその距離です

